

|           |                 |  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
|-----------|-----------------|--|---|---|-----|---------|---|---------|-----|---|---|------|---|---|---|
| 事業所名      |                 | 放課後等デイサービスSA-N-P0鶴見教室  |   |   |     | 支援プログラム |   | 作成日     |     | 令和8   | 年 | 2    | 月 | 2 | 日 |
| 法人（事業所）理念 |                 | ○利用者様、職員、地域社会のそれぞれの歩みをつなぐ地域資源として役割を果たしていく。<br>○利用者様ならびにご家族の皆様の心の安寧、そして尊厳を守り、心和やかに過ごしていける環境を提供していく。<br>○一人一人が「喜ばれるよろこび」を追求し、多様な個性を尊重しながら、風通しの良い職場づくりを実現していく。  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
| 支援方針      |                 | ○”あたりまえ”の枠にはめず、子どもたちの個性を大切にする。<br>○「遊びに夢中」になることで<言語発達><学習技能><対人スキル><社会的行動>といった社会スキル、日常生活における習慣行動や協調運動、持続力などを引き出していく。<br>○「遊び」「食育」「木育」を中心に発達支援を行う。  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
| 営業時間      |                 | 10   | 時 | 0 | 分から | 19      | 時 | 0       | 分まで | 送迎実施の有無   |   | ありなし |   |   |   |
|           |                 | 支 援 内 容  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
| 本人支援      | 健康・生活           | ○健康の維持 ○生活リズムや生活習慣の形成 ○基本的生活スキルの獲得<br>健康の維持、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得の支援、定時排尿の声掛け、楽しい食事体験、楽しく通える場所として存在し続ける、一人一人が健やかな身体と心を持ち、日常生活を自立して送ることができるようにする健康チェック（検温）、身辺自立に向けた取り組み、戸外活動、避難訓練、買い物、安定したルーティンで過ごす。 ○食育として、様々な経験を通じて健全な食生活を実践する。友だちとの関わりを深め健やかな心と身体の発達を促し「食べる力」を豊かに育む。  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
|           | 運動・感覚           | ○姿勢と運動・動作の向上 ○姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ○保有する感覚の総合的な活用<br>粗大運動や協調運動・微細活動の提供、触覚等感覚へのアプローチ、感覚調整や運動能力の向上、自己肯定感や自己効力感を高める、保有する感覚を十分に味わえる遊びや運動を提供する。<br>粗大運動（サーキット、ストレッチ、トランポリン、ボール遊び、風船遊び、集団遊び、再現遊び）<br>感覚遊び・触覚遊び（スライム、粘土、シャボン玉、砂遊び、ふれあい遊び）<br>微細運動（手遊び、コマ、工作、制作活動、手芸、LaQ、レゴ カードゲーム）<br>木育（木を手で触り匂いをかぎ、ぬくもりを五感で感じ取る。自然な素材に触れ、自由な発想と想像力を養い、自然に触れることで情操を育む。） |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
|           | 認知・行動           | ○認知の発達と行動の習得 ○空間・時間・数などの概念形成の習得 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得<br>言葉と意味のマッチング、時系列による理解の促し、認知特性を踏まえここに理解しやすい形での情報提供、情報処理の支援や偏り・こだわりなどへの対応策を考える言葉遊び、歌遊び、読み聞かせ、工作、制作活動、実験、マンツーマンでの活動・やり取り、ごっこ遊び、ゲーム遊び、読書、絵本の読み聞かせ、絵カードの使用する。<br>お子様のその日の状況や活動に応じて使用する。階段昇降の安全な使い方の指導する。（転倒の可能性がある児童には支援員が付き添いを行う）  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ○言語の形成と活用 ○言語の受容および表出 ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○コミュニケーション手段の選択と活用<br>小集団でのやり取り、遊びのなかで他者との関わりを通して言語能力の向上やコミュニケーションスキルへの支援、自己表現の場の設定、社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高める、具体的な体験と言葉の意味を結びつけ体系的な言語の習得を促す職員とのおしゃべり、あそびを共有した同年代の子とのやり取り、大人に向けての気持ちの表出、他者に向けてどう伝えればいいのか職員と一緒に考えていく、絵カードなど視覚支援を行う。  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
|           | 人間関係<br>社会性     | ○他者との関わり（人間関係）の形成 ○縦割での集団活動 ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加<br>他者との関わりの中での社会性の発達と集団活動や社会参加、集団活動でのルールに合わせた行動等や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り社会生活における適応力を養う、自己理解やコントロールのための支援好きな事を介して関わる人との関係作り、社会のルールに従って行動する体験（お出掛け・買い物・道路の歩き方・お出掛け先での過ごし方）、親子イベントへの参加、集いを行い、1日の見通しの周知や振り返りを行う場を設ける。  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |
| 家族支援      |                 | 写真含む情報提供・共有をおこなう。<br>適時、保護者の求めに応じて相談に乗り面談を行う。<br>送迎時にお子様の様子を伝達、家庭での様子、出来事の共有を行う。   |   |   |     |         |   | 移行支援    |     | 面談を行うなど保護者の方の話をしっかりと聞きながら、各関係機関と連携を図り、スムーズに進級、進学に移行できるよう支援する。       |   |      |   |   |   |
| 地域支援・地域連携 |                 | 地域の公園での戸外遊び<br>児童福祉法に基づき社会との交流の促進をしていき体力作り、気分転換、危険認識を深め、社会性を育てる為、短時間の外出を取り入れていく。<br>心身障害者福祉センター、近隣の公民館、児童館との連携   |   |   |     |         |   | 職員の質の向上 |     | 事業所内研修（虐待防止 安全対策 事故防止 環境衛生 等）<br>外部研修への派遣（木育研修、中区こども部会主催の研修 療育センター） |   |      |   |   |   |
| 主な行事等     |                 | ○親子イベント（年2回）・・・法人が運営するファームに行き、田植えや稲刈りを体験する。非日常的な場所で五感を使って自然を感じる<br>○クッキング・・・自分で調理して食べる体験、他者と協力する・役割を果たすなどの体験、みんなで食べる楽しさを知るなど食への興味・関心へとつなげていく。（市民農園とも契約し、畑で野菜を育てている）<br>○季節の行事（節分、ひな祭り、ハロウィン、クリスマスなど）<br>○課外活動（地域の公園 施設等 一日を通しての課外活動を実施）  |   |   |     |         |   |         |     |   |   |      |   |   |   |